



美しい音色を奏でて

松浦ウインドオーケストラ定期演奏会

松浦ウインドオーケストラ第9回定期演奏会が3月5日、文化会館で開催されました。

今回の演奏会は、3部構成で行われました。第1部はシンフォニックステージとして吹奏楽のために作編曲された曲の演奏、第2部は企画ステージとして高校の吹奏楽部との共演、第3部はポップスステージとして映画音楽やゲーム音楽など、観客の皆さんが聞いたことがある曲が演奏されました。

観客たちは、奏でられる吹奏楽の迫力ある素晴らしい演奏を楽しみました。



いつまでもお元気で

山本マサさん 100歳のお誕生日

山本マサさん(今福・滑栄)が3月8日、100歳の誕生日を迎えました。

山本さんは、大正6年長崎市生まれ。結婚後、ご主人の仕事の都合で松浦へ移り住まれました。現在、伊万里市の介護老人保健施設西光苑に入所されており、歌を歌うことが好きな山本さんは「西光苑の歌姫」とも呼ばれています。

この日、入所中の同施設で家族に囲まれ、お祝いの言葉と花束を受け取りました。



地域の福祉のために

福祉の里松浦作業所

公益財団法人日本財団から社会福祉法人長崎両輪会(田中廣太郎理事長)へ車両が贈呈され、福祉の里で2月28日にお披露目式が行われました。

日本財団では、障害者や高齢者の地域生活を応援するため福祉車両の配備事業を実施しており、今回、長崎両輪会へ助成されることになりました。

同法人の田中理事長は、「以前から小回りが利く燃費のいい車が欲しいと思っていたところ、この度日本財団からの助成を受けて軽自動車を購入することができました。大変ありがたいことであり、大事に使いたいと思います」と話しました。

この車両は、施設利用者の送迎などに利用されます。



ツバキの魅力を発信

福島つばき祭り

第44回福島つばき祭り(松浦福島つばき会主催)が3月4日・5日の両日、福島武道館と同武道館前お祭り広場で開催されました。

会場では、ツバキの盆栽や鉢物の展示、ツバキの花苗販売や園芸指導、町内の小中学生による「つばき」を題材にした作品展示、特産物の販売などが行われました。

会場を訪れた人たちは、展示された美しいツバキを熱心に眺めたり、絵手紙でツバキの絵を描いたり、地元の特産品を買い求めるなど、楽しいひとときを過ごしていました。



Easter

- イースター (復活祭) -



ティーガン・スコット
Tegan Scott
オーストラリア出身

こんにちは！
外国語指導
助手です。



3月と4月は、日本の皆さんにとってワクワク・ドキドキする時期ですね。学校や職場では新しい年度が始まり、進学や仕事の異動などによって環境が変わる人もいます。全てが桜の香りに包まれていて、私のお気に入りの季節です。

オーストラリアでは、私が大好きなイースターがやって来ます。イースターは、日本ではクリスマスほど知られていないようです。全く知らない人もいるようなので、今回、私が簡単に説明したいと思います。

イースターとは復活祭とも呼ばれ、最も重要なキリスト教の祭日です。十字架にかけられたイエス・キリストが亡くなってから3日後に復活したことを祝うものです。多くのキリスト教徒は、教会に出掛けます。そして、多くの人々が卵やウサギの形をしたチョコレートを食べることを祝います。

「ちょっと待って、ティーガン先生！ 厳粛なキリスト教の祭日と、卵とウサギのチョコレートにどんな関係があるのですか？」という皆さんの声が聞こえます。

卵は生命の誕生、ウサギは多産・豊穡を象徴するものです。また、長く厳しい冬の後、新しい生命が生まれる暖かい春へ移り変わることから「再生」の象徴ともされ、キリストの復活と重ね、お祝いされるようになりました。

元々イースターは、純粋なキリスト教の祭日ですが、現代では、春分の行事となっています。私は信心深いわけではありませんが、オーストラリアでこの時期

チョコレート・エッグを食べることを楽しみにしています。今は日本にいるので、桜の香りがする飲み物と一緒にいただくのもいいですね。



図書館の おすすめ

BOOK 本

市立図書館
☎ 0956-72-4677



松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索

土日、祝日も開館しています。(年末年始、臨時休館を除く)



『夢はみるものではなく、かなえるもの [100年インタビュー] 保存版』

澤穂希 / 著 PHP研究所

日本女子サッカー界の第一人者、澤穂希さん。6歳からサッカーを始め、2015年2月に引退するまで幾多の困難もあきらめず闘い挑戦し続けたその日々を振り返るインタビューです。小学校高学年からおすすめしたい一冊です。



『スラムにひびくバイオリン ゴミを楽器に変えたりサイクル・オーケストラ』

スーザン・フッド / 作、サリー・ワン・コンポート / 絵 汐文社

南米の国パラグアイ。この国のゴミ処分場にある貧しい街にゴミから生まれた楽器で音楽を奏でるオーケストラがあります。ゴミの山から鉄くずなどを拾い集め、お金にかけて生活をする子どもたち。貧しく、希望の見えない暮らしの中でも輝く宝物を自分たちでつくりあげた実話です。

“読書の春”の到来です！



「読書の秋」という言い回しがあるように、読書と言えば秋のイメージが強いですね。でも、春は読書にちなんだ記念日(週間)が多く設けられている季節なのです。

- | | | | |
|-------------|------------|------------|-------------|
| ① 絵本週間 | 3月27日～4月9日 | ④ こどもの読書週間 | 4月23日～5月12日 |
| ② 国際子どもの本の日 | 4月2日 | ⑤ 図書館記念日 | 4月30日 |
| ③ 子ども読書の日 | 4月23日 | | |

新年度で環境が変わり、学校や職場で緊張する毎日が続いている方もいらっしゃると思いますが、気分転換にぜひ、図書館にお寄りください。11万冊を超える本たちが、皆さんとの出会いを待っています！